

## 適正利用・エコツーリズムワーキンググループからの報告

### 1. 知床エコツーリズム戦略の試行を開始した

#### ○知床エコツーリズム戦略の試行

- ・知床エコツーリズム戦略（案）に昨年度の適正利用・エコツーリズム検討会議（以下、「検討会議」）で関係者が合意し、平成 24 年度に試行を開始した。平成 24 年度に 2 件程度の提案を試行として取り扱い、戦略の改善すべき点を検討する。

#### ○パブリックコメント及び地域説明会の実施

- ・知床エコツーリズム戦略（案）に対するパブリックコメントを 5 月 17 日から 6 月 18 日までの期間で実施した。2 名から合計 9 件の意見等があった。
- ・7 月 3 日と 7 月 5 日に斜里町、羅臼町での住民説明会を開催した。

#### ○知床エコツーリズム戦略の最終施行版の決定

- ・パブリックコメントや住民説明会の結果を整理し、今年度の戦略の試行状況も踏まえ、平成 24 年度中に知床エコツーリズム戦略を確定する。また、戦略を現場関係者がより有効に活用するための事務取扱要領を作成する。

### 2. 知床エコツーリズム戦略(案)の特徴

#### ○地域主導を重視した目的

- ・遺産地域におけるエコツーリズムを含む観光利用の推進により、自然環境を保全しその価値を向上しながら知床らしい良質な体験を提供し、あわせて持続可能な地域社会と経済の構築を図るため、遺産地域の全ての関係者が、共通の将来目標と、その目標を地域主導で達成するための方法を共有することを知床エコツーリズム戦略の目的とした。

#### ○新たな検討の枠組み

- ・エコツーリズム戦略は、新しい観光利用やルール等を提案できる仕組みを持つ。提案内容が各種法律等や戦略の範囲を逸脱していなければ、部会で詳細を検討する。そのうえで、部会での検討結果を検討会議で再度評価し、了承されれば実施できる。また、行政機関や地域関係団体は検討会議での決定を尊重し、支援することに合意した。

#### ○判断基準の設定

- ・提案内容について判断するための基準として、戦略の基本方針として、「基本原則」と「エコツーリズムを含む観光利用の推進にあたって必要な視点」を定めた。また、提案を実現させるための手段として「具体的方策」を記載した。

### 3. 今後の主な予定

#### ○平成 24 年 9 月 第 1 回検討会議

- 試行的な提案の受付の実施。平成 24 年度に審議する提案の決定。

#### ○平成 25 年 3 月 第 2 回検討会議

- 試行で審議している提案に関する検討状況の報告または決定。
- 知床エコツーリズム戦略の確定。事務取扱要領などの決定。